

## (1) 大雨時に取りべき行動

台風や大雨などは事前に進路や規模が予測できることから、接近時の計画(マイ・タイムライン)を立てておくことで適切な避難行動につなげることができます！

### 計画を立てる前に確認すべきこと

#### ハザードマップでチェック

・あなたの住んでる地域は？

- 洪水浸水想定区域内  土砂災害警戒区域内  
 家屋倒壊等氾濫想定区域内

・住んでいる場所の洪水浸水深は？ (想定最大規模) 例: 明石川、0.5m~3m

【 川、 m】

・最寄りの避難先は？

【 】

#### 家庭の状況チェック

・避難に支援を必要とする人 (高齢者、障害者、乳幼児、妊婦など)

- 無  有 (ペット:  無  有)

#### 避難行動の検討

家屋倒壊等氾濫想定区域内である

はい ↓ いいえ

洪水浸水想定・土砂災害警戒区域内である

はい ↓ いいえ

・建物が頑丈 ・マンション居住

はい ↓ いいえ

ハザードマップの最大浸水深などを考慮すると、垂直避難で安全が確保できる。

はい ↓ いいえ

立退き避難 (水平避難)

屋内安全確保 (垂直避難)

屋内待機

#### 【注意事項】

これは、避難方法を検討する際の目安です。洪水浸水想定区域外でも浸水する場合や、想定される浸水深を上回る場合もあります。土砂災害警戒区域も同様です。屋内待機や屋内安全確保と判断した場合でも立退き避難を想定した準備をしましょう。

### マイ・タイムライン

防災気象情報 (警戒レベル相当情報)		警戒レベル	避難情報など	皆さんがとるべき行動	わたしの計画
浸水の情報 (河川)	土砂災害の情報 (雨)				
早期注意情報		警戒レベル 1		<b>最新情報に注意</b> <input type="checkbox"/> 天気予報を確認 <input type="checkbox"/> 家の点検・補強 <input type="checkbox"/> 非常持出品や備蓄品*の確認 *停電に備えた懐中電灯や水など	例: 家族の行動予定を確認 携帯電話の充電
大雨注意報 洪水注意報 氾濫注意情報	大雨注意報	警戒レベル 2		<b>ハザードマップなどで避難方法を確認</b> <input type="checkbox"/> 備蓄品などが水没しないように安全な場所に置く <input type="checkbox"/> あらかじめ避難場所を確認	例: 非常持出袋を準備 避難方法を確認
大雨警報 (浸水害) 洪水警報 氾濫警戒情報	大雨警報 (土砂災害)	警戒レベル 3	高齢者等避難 (市が発令)	<b>高齢者などは危険な場所から避難</b> <input type="checkbox"/> 高齢者等避難の発令に注意 <input type="checkbox"/> 避難場所の開設状況を確認	例: おばあちゃんや避難所へ隣のおじいちゃんに声かけ
氾濫危険情報	土砂災害警戒情報	警戒レベル 4	避難指示 (市が発令)	<b>危険な場所から全員避難</b> <input type="checkbox"/> 避難指示の発令に注意	例: 避難所の開設状況を確認 家族全員避難所へ移動
大雨特別警報 氾濫発生情報	大雨特別警報	警戒レベル 5	緊急安全確保 (市が発令)	<b>命を守る最善の行動をとる</b>	

危険大

\*避難指示などは、地域の状況に応じて発令される情報であり、必ず発令されるものではありません。

### わたしの計画

左記のチェック項目を参考に個人のタイムラインを記載しましょう!

- 手順1:  で該当するものを記載  
 手順2:  以外で他に必要なものがあれば記載

### 避難の心得

浸水が深くなる前に避難を



浸水が深くなると、移動が困難になります。水の流が速い時は50cm以下でも歩行は危険です。

移動は2人以上で、みんなで助け合って避難を



1人だと、いざというときに助け合えません。避難するときは隣近所の高齢者や障害のある方に声をかけ、協力して避難しましょう。

避難は動きやすい服装で



長靴やサンダルは危険です。運動靴をはき、両手が自由になるよう持ち物はリュックサックに入れて避難しましょう。

夜間の避難は要注意!



夜間の避難は周りの状況が確認しにくく、非常に危険です。可能な限り暗くなる前に避難しましょう。

万が一、逃げ遅れたときは



万が一避難が遅れ、危険が迫ったときは、丈夫な建物の2階以上に避難しましょう。